



第25回 ファインセラミックスセンター ナノ構造研究所 材料計算セミナー

ナノ構造研究所の活動の一環として、第25回材料計算セミナーを開催いたします。今回は、世界中で広く使われている三次元可視化システム VESTA の開発者である門馬綱一博士と粉末構造解析システム RIETAN-FP・VENUS の開発者である泉 富士夫博士を講師として、VESTA を利用した三次元可視化と粉末構造解析に関する講義と実習を催します。

場所 (一般財団法人) ファインセラミックスセンター
名古屋市熱田区六野2丁目4番1号
JR東海道本線(普通)・熱田駅下車・北東へ徒歩5分

共催: 文部科学省科学研究費助成事業 新学術領域研究「複合アニオン化合物の創製と新機能」

2018年10月23日(火)・10月24日(水) (定員60名) 参加費無料

一部だけのご参加も可能ですので、参加登録時にお申し付けください

お申し込みは先着順とさせていただきますので、お早めどうぞ。

講師:

門馬 綱一博士(国立科学博物館 地学研究部 鉱物科学研究グループ)

泉 富士夫博士(ファインセラミックスセンター 客員研究員)

講習内容:

A: 10月23日(火)13:40- 三次元可視化システム VESTA の機能概要(講義)

B: 10月23日(火)15:35- VESTA の使い方の実習 1:基礎編

C: 10月24日(水)9:30- より高度な VESTA の機能(講義)

D: 10月24日(水)10:30- VESTA の使い方の実習 2

E: 10月24日(水)13:30- VESTA の使い方の実習 3

申込方法:

氏名・所属・連絡先(Eメールアドレス)・参加するコース(A~E)を明記して、以下の申込先にメールをお送りください。

担当(田口) Eメール: a_taguchi@jfcc.or.jp

その他:

実習(B、D)に参加される方

- ・ VESTA と実習用データの入った PC をお持ちください。
- ・ 実習用データの配布アドレスはメールにて連絡します。

実習(E)に参加される方

- ・ 下記の実習用 PC をお持ちください

64ビット Windows 機

64ビット版の秀丸エディタ、Sumatra PDF、Miniconda3(PyAbstantia によるイオンの移動経路の可視化に興味ある方のみ)を事前にインストール

- ・ 上記実習用 PC がご準備できない方でもご聴講は可能です。
- ・ 実習 E をお申し込みいただいた方には、インストーラー、チュートリアル、参考資料を事前に配付いたします。

プログラム:

10月23日(火)

13:00 受付開始

13:30 開会挨拶 ナノ構造研究所 森分博紀グループ長

13:40 三次元可視化システム VESTA の機能概要(講義)

国立科学博物館 地学研究部 鉱物科学研究グループ 門馬綱一博士

15:25 休憩

15:35 VESTA の使い方の実習 1

基礎編

国立科学博物館 地学研究部 鉱物科学研究グループ 門馬綱一博士

17:00 終了予定

10月24日(水)

9:30 より高度な VESTA の機能(講義)

10:30 VESTA の使い方の実習 2

複数データの取り扱い、シミュレーションの入力データ作成、磁気構造等

国立科学博物館 地学研究部 鉱物科学研究グループ 門馬綱一博士

12:30 昼休み(昼食は各自でご用意ください)

13:30 VESTA の使い方の実習 3

RIETAN-FP, Dysnomia, superflip, PyAbstantia 等との連携

JFCC 泉 富士夫博士

16:30 終了予定